

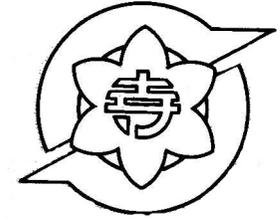
◇ 沿革の概要

- 明治 7年 3月15日 寺坂村堂宇にて開校
- 10年 9月14日 寺坂字黒田に校舎新築落成（26坪）
- 15年10月 校舎増築（6坪）
- 35年 3月23日 現在地（日野辺字来谷）に寺坂尋常小学校校舎新築落成(45坪)
- 42年 9月 1日 教室増築（2教室）
- 大正 元年12月25日 運動場拡張（260坪）
- 6年12月 7日 便所、物置増築（5坪）
- 14年 3月24日 校舎増築
- 昭和 3年10月22日 校地拡張（560坪）
- 5年 9月15日 講堂兼体育館新築落成
- 16年 4月 1日 寺坂国民学校
- 18年 4月16日 寺坂幼稚園設置開園式
- 22年 4月 1日 寺坂小学校と改称
- 24年 4月30日 小川新吉氏寄付により校舎落成（60坪）
新校舎4教室竣工 裁縫室、校長室改築
- 32年 9月 1日 出石町立寺坂小学校、出石町立寺坂幼稚園と改称
- 34年 5月19日 裏山に観察池「はの」完成
- 35年 1月18日 校歌制定
- 40年 9月 2日 ミルク給食開始
- 40年11月10日 裏山治水工事竣工
- 41年 2月25日 県教委指定 同和教育研究中間発表会
- 42年 2月28日 県教委・文部省指定 同和教育研究発表会
- 42年12月 6日 文部省指定 同和教育研究発表会
- 46年 7月12日 学校プール新設落成（25m6コース）
- 49年11月24日 学校創立百周年記念式典挙行
- 55年 4月21日 町内小中学校が一斉に米飯給食開始
- 57年 6月28日 裏山に「はの森」整備完成
- 59年 2月17日 但馬教委連合会指定 国語教育研究発表会
- 59年 7月26日 新校舎起工式
- 60年 4月22日 新校舎使い初め式
- 60年10月31日 県学校給食優良校受賞
- 60年 8月31日 新校章制定
- 60年12月 7日 校舎、体育館兼講堂、幼稚園舎落成
- 60年12月15日 記念碑、庭園造園
- 平成 元年11月 1日 全但理科研究会会場となる
- 3年 3月 7日 交通安全優良校として県警より受賞
- 3年 3月20日 ふるさと読本「はの」発刊
- 4年 4月15日 体育館正面壁面に校章取り付け
- 5年12月16日 風向、風力計、百葉箱等気象観測装置設置
- 6年 6月13日 プール水泳槽全面改築
- 7年 8月23日 校舎の内壁塗装工事
- 7年10月27日 兵庫県小学校社会科教育研究会但馬大会
- 9年 1月21日 韓国慶州市月城初等学校海外派遣団との交流会
(出石町内小学校の単独受け入れの第一回目)
- 9年 3月30日 屋根瓦の修理完了、プールフェンスの全面交換、
- 9年12月18日 学校前の横断歩道に水銀灯設置 この夜から点灯
- 10年 5月27日 二階男子トイレに洋式便器を設置
- 11年 8年27日 固定式バスケットゴール2台設置
- 12年10月 1日 出石町全域防災無線受信機設置及び端末操作機設置
- 12年10月26日 但馬小学校書写教育研究大会

- 13年 9月25日 県警ホットライン器具設置（テスト完了）
- 16年 1月27日 韓国慶州市東川初等学校交流団来校、
- 16年10月20日 台風23号の影響により、運動場・プール冠水
避難所開設 校区内に多大な被害を及ぼす
- 17年 4月 1日 市町合併に伴い、豊岡市立寺坂小学校、豊岡市立寺坂幼稚園に改称
- 17年 9月16日 校舎・体育館内外、部分修繕工事完了（内装・建具等）
- 19年 6月25日 緊急通報警戒システム設置
- 19年 6月28日 但馬小学校家庭科教育研究会開催
- 20年 1月29日 韓国慶州市東川初等学校国際交流体験学習使節団との交流会
- 24年 4月 3日 焼却炉撤去 物置設置
- 24年 7月 8日 校区民による校庭芝生化作業
- 令和 元年 6月20日 1～6年生教室エアコン設置工事
- 3年 3月31日 特別教室エアコン設置並びにキュービクル設置工事
- 4年 4月 1日 寺坂幼稚園 休園

令和5年度

学校要覧



校 歌

作 詞 吉 橋 三 本 川 喬 一
作 曲 昭 和 六 十 年 二 月 制 定

一

緑をひたす 出石川
水清らかに 流ゆなく
希望をかき 海にゆき
世界のはたけ 水と成る

二

雪にかがやく 床尾の
山のめだき 朝夕にて
つとめはげす 元氣よく
高きに負けず 元氣よく

三

木々の色は 土野の谷
わが心は 土野の谷
友よれは 土野の谷
友よれは 土野の谷

校章の由来

旧出石町の町章の「い」の中に町花のテッセンを入れ、中心に寺坂小学校の「寺」をデザインしてあります。

将来、出石の町とともにますます充実発展していくことを表しています。

このデザインは、応募者の中から2人の案を組み合わせて作られました。昭和60年8月31日に「新校章」として制定されました。

豊岡市立寺坂小学校

〒668-0246 兵庫県豊岡市出石町日野辺1-1
TEL: 0796-52-5851
FAX: 0796-52-6258
E-mail: terasaka-es@edu.city.toyooka.hyogo.jp

令和5年度 学校経営方針

《 校 訓 》 強く 正しく 美しく

学校教育目標

「自ら学び 心豊かで たくましく生きる子の育成」
～ 挑戦 根気 協力 笑顔 ～

《 経営の基本姿勢 》

学校・家庭・地域の総力で「生きる力」をはぐくむ

めざす子ども像

よく考え、本気で学ぶ子
(気づき・考え・行動する力)

自らを鍛え、
元気でたくましい子
(体力)

他者を思いやり、
仲間とともに伸びる子
(コミュニケーション力)

ふるさとを愛し夢や目標
の実現に努力する子
(継続力・忍耐力)

めざす学校像

意欲と活力にあふれる
魅力ある学校

あさつ飛びかう
明るい学校

歌声が響き、
笑顔いっぱいの学校

地域に開かれた
信頼される学校

めざす教師像

使命感を持ち
情熱あふれる教師

すぐれた実践的
指導力を持つ教師

豊かな人間性を備え、
学び合う教師

心身共に健康で、児童
と共に学び、汗する教師

《 経営の重点 》

- 1 「教職員みんなで子どもを育てる」との意識に立ち、人間的な心のふれあいを一層深め、小規模校の特性を生かした教育活動の焦点化・具体化・意識化を推進し、がんばりぬく力(夢実現力)の育成を図る。
- 2 研修を充実し、専門性と実践的指導力の向上を図ると共に、教職員一人一人が創意工夫に満ちた魅力ある教育活動を展開する。
- 3 「確かな学力」の定着に向けて、基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等をバランスよく伸ばすとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- 4 教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実を図る。
- 5 人権に関する概念や歴史等の知的理解と人権感覚の涵養を基盤に、人権課題を解決しようとする意欲、態度を育てると共に、豊かな人間関係を育む「心の教育」を充実する。
- 6 地域の教育力の活用を図り、郷土の文化・伝統を学び、ふるさとを愛する心を養う。
- 7 開かれ、信頼される学校づくりを推進し保護者、地域と一体となった教育を展開する。

研 修 の 主 題

聴き合い、考え合い、認め合う子どもの育成
～子どもたちが学び合いたくなる場づくりを中心に～

〔 研修の柱 〕

- 複式教育と少人数を生かした聴き合う授業の推進
- 対話による学びの深まりが生まれる学習の推進
- 学習のユニバーサルデザイン化(特に視覚化)
- 基礎基本の定着と表現力、活用力を高める授業づくり
- 「寺坂小・学びの基本」の取組の具体化と充実
- 小小連携による多様な学習活動の場の創造

〔 研修内容 〕

- 1 授業研究、事前研、事後研
- 2 複式教育の追求(複式授業の推進、「ひとり学習」の系統化と定着)
- 3 小小連携教育の取組
- 4 「学びの基本(聴く・話す・読む・書く)」の定着
- 5 書くことの日常化
⇒「お話キャッチボール」「各教科での学習成果物の提示」など
- 6 話すことの日常化(「やる気の花発表会」「給食の感想」など)
- 7 「学びのステップ」の活用
- 8 基礎基本の定着(計算・漢字・ローマ字のタイピング)
⇒スキルタイムの活用
- 9 生活実践力をつけるための取組の継続「やる気の花」
- 10 読書活動の充実(読書環境の整備、読書活動の推奨、朝読書、親子読書)
- 11 児童相互の発達段階の違いに対応するための学習のユニバーサルデザイン化
- 12 子ども同士が学び合い、集団思考による深まりのある学びの場づくり

◇ 校区の状況

本校は正面に霊峰床尾山(839m)を仰ぎその裾野を出石川の清流が東西に流れる。その出石川に添って国道426号線が縦断するという細長い地域の中心に位置している。以前の校区は豊かな農村という様相を呈していたが、現在は、国道426号が、近畿舞鶴自動車道の幹線としての役目を果たし、交通量も多くなってきている。また、地域では、工場誘致などが図られた結果、それらの工場の下請け家内工業をはじめ、近隣の市町の工場などへ勤める人が多く、酪農、土木建築関係と併せて兼業農家の家庭が多くなった。

◇ 児童数

学年	1・2年	3年	4年	5・6年	あおぞら	合計	学区	児童数		
								男	女	計
児童数	男	0	6	2	1	4	1	0	0	0
	女	0	1	2	4	1	2	2	1	2
	計	0	7	4	5	5	3	2	2	6
	実家庭数	0	1	4	4	5	3	2	1	9
	計	19	14	12	26					

◇ 職員組織

	担任等	名前
1	校長	赤木 慈郎
2	教頭	安積 正陽
3	1・2年生担任	小田垣 洋利
4	3年生担任	大谷 夏美
5	4年生担任	大上 久美子
6	5・6年生担任	根兵 俊輝
7	あおぞら学級担任	谷垣 好美
8	専科	長澤 陽平
9	養護(主幹教諭)	橋本 真澄
10	学校事務	松岡 弥栄子
11	校務員	加藤 久典
12	育休中	田中 菜月
13	育休中	辻 朱

年間学校行事予定

3月	2月	1月	12月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
卒業式 PTA総会 修了式	参観日	震災メモリアル大会 スキー初め大会 書き初め大会 始業式 身体測定 百人一首大会①	分期末児童会 個別懇談会 終業式	百人一首大会② 防犯訓練	避難訓練 オーブン大会 マラソン大会	防災メモリアルデー 身体測定 校区民運動会 PTA奉仕作業 PTA資源ゴミ回収	全校登校日 始業式	心臓蘇生法講習会 PTA奉仕作業 参観日 修学旅行 自然学校 プール開き	交通安全教室 ふれあい農園 避難訓練 内科健診	参観日 全国学力・学習状況調査 身体測定 PTA資源ゴミ回収 分期末児童会 歯科検診 眼科検診 家庭訪問